双六岳周辺スキー

11.5.5-8
メンバー　菊地

５月５日（晴れ）
　新穂高温泉到着が遅れて、出発が遅くなってしまった。駐車場の車も少なめで、スキーを担いでいる人の姿もない。軽量化無視でパンパンのザックにスキーを付けると重さが半端でないが頑張るしかない。いつも通りの辺りから、道端に残った雪を繋ぎながらシール登行に切り替える。
　林道を離れデブリ帯に入って行く。秩父沢を抜けるとデブリから開放されるが、先はまだ長い。非常に気温が高く、もう一人の自分がビール飲んじゃえよとささやく。ようやく前方に弓折岳が近づい来る。道中降りて来る人には会うが、後にも先にも登る人の姿は無い。グズグズの腐れザラメと重荷でシール登行がきつかったが弓折岳に登り、水筒のホースから水を吸おうと思ったら空っぽだった。いつの間にか２．５Ｌ飲み干していた様だ。今日は寝不足の為か、汗が目に入ると異常に痛みを感じていたので、ここで泊まる事にした。それにしても眺めの良い場所で、暫し外で過ごす。

５月６日（晴れ）
　昨晩の放射冷却で雪面はガチガチになっている。広くて緩やかな稜線が続き、今日も何人か下山の人とすれ違うが皆、充実した日々を過ごしたのか笑顔だ。左手に魅力的な双六カールを見送り稜線を離れトラバースに入ると双六小屋は近い。
　時間が中途半端な為、予定を変更してさっき見た双六カールに向う。身軽になり足取りも軽く、双六岳に向かう。雷鳥には会うが人には誰にも会わず終始貸切状態だった。カールにはシュプールは殆ど無く快適だが、降りるにしたがい段々潜る重いザラメになっていき、抵抗も大きく板が滑らない。シールを張り緩やかな谷をベースに向け登り返すが半袖でも良いぐらいの陽気だったが夕方からはガスが出てきた。

５月７日（曇り時々晴れ）
　早朝まで強風が吹き荒れていたが、６時位には収まってきた。黒部五郎まで行こうと思っていたが、

様子見でスタートが遅れたので、三俣蓮華に変更する。

風は収まったがガスで視界は悪い。双六岳はトラバースでパスする。稜線に戻ると、段々青空が広がる様になってきた。遠くに薬師や槍を見ているとまたオートルートに行きたくなってくる。丸山を越え、緩い登り返しで三俣蓮華岳到着。山頂には三俣山荘ベースでスキーを楽しんでいた人が下山する所だった。三俣ベースだと黒部五郎なども近く、更に静かに過ごせそうだ。下を見るとシュプールが全く無い。岩の間からダイレクトに斜面に飛び込む。少し急だが雪が軟らかく、直ぐに緩やかで広い斜面が山荘まで続く。三俣冬季小屋の入口は雪面から２ｍ位下にあった。そのまま黒部源流へと滑り込むが、こちらもグサグサ雪で板の滑りが悪いが、辺りは何処ものっぺりした斜面で気持ち良い。

岩苔乗越までは秩父岳の雪庇が怖いが、クライミングサポートの要らない傾斜が続き、稜線からは水晶岳が近く、つぼ足トレースが付いている。

三俣山荘に戻ると、またガスで覆われる様になってきた。山荘前から弥助沢に滑り込むが、やはり非常に雪は重く、落ちて行く雪団子がどんどん大きくなる。沢床が広く緩やかになると、かろうじて滑る程度の滑走がモミ沢まで続く。

シールを張ったり剥がしたりで粘着力は弱くなっているが、傾斜が緩いので問題無いだろう。今までモミ沢沿いで、雪渓が割れているのは見た事が無かったが、今回は２～３箇所割れ上部では樅沢岳から大規模な雪崩も発生していた。

かなりガスってきたが、滑り足らなかったので、双六岳の途中まで登り返して締めくくる。

５月８日（濃霧）

昨晩から雨だったが、いつの間にか雪に変わった様で、多い所で１０センチ程湿った雪が積もっている。風と濃霧は残るが降雪は、ほぼ収まっていた。荷物をまとめタップリ遊んでもらった双六を後にする。荷物はだいぶ軽くなったが、雪は表面がモナカ状態でスキーがズボズボ潜り、抜くのに疲れる。稜線上も視界が悪いので、雪庇に注意しながら行く。

三俣蓮華岳

弓折岳に着いたが下が全く見えない。めぼしをつけガスが薄くなるのを待つ。神様に願いが通じたのか、一気にガスが晴れボールに滑り込む。幸い稜線上と違い雪は軟らかかったが、超重でテレマークターンをすると、今まで感じた事の無い、前足の膝関節が一瞬ずれている様な感触があり、やばそうなのでアルペンで滑る。行きとは違い、帰りはあっという間にデブリ帯に到着。スキーを履いたまま延々ドンブラコと進むが、歩いた方が楽だろう。林道も更に雪解けは進んでいる様だが、脱着がめんどうで雪が無くてもスキーを履いたまま進み、雪が途切れる最後までスキーを使う。新穂高温泉に戻ると人もまばらで閑散としていた。今回は夜に天気が荒れる事はあったが、日中はまずまずの天気で、山菜も十分楽しめ充実した連休となった。

地形図：笠ヶ岳、三俣蓮華岳
コースタイム：
５日　新穂高温泉８００～小池新道口１０：４０～弓折岳１５：３０　６日　弓折岳８：００～双六小屋９：１０・９：４０～双六岳１０：５０・１１：３０～双六谷２３９０ｍ１１：４５・１２：００～双六小屋１２：３５
７日　小屋６：３５～三俣蓮華岳８：１５・８：５０～岩苔乗越１０：３５・１１：１０～三俣山荘１２：１０・１２：４０～モミ沢出合１３：０５・１３：２５～双六２６８０ｍ１５：２５・１５：４０～小屋１５：４５
８日　小屋８：００～弓折岳９：２０・９：５０～小池新道口１０：３５～新穂高温泉１２：５０

黒部五郎岳